

宗像市市民参画等推進審議会 会議録（要点筆記）

日 時	令和 7 年 11 月 19 日（水） 10：00～12：00
場 所	市役所 北館 204 会議室
委 員	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">■ 朝倉拓郎</div> <div style="width: 50%;">■ 今津理恵</div> <div style="width: 50%;">■ 鈴木邦治</div> <div style="width: 50%;">■ 高山國敏</div> <div style="width: 50%;">■ 種田明美</div> <div style="width: 50%;">■ 中村昌史</div> <div style="width: 50%;">■ 福岡佐知子</div> <div style="width: 50%;">■ 水島直子</div> <div style="width: 50%;">■ 矢野貴士</div> <div style="width: 50%;">■ 米倉仁美</div> </div> <div style="text-align: right;">（五十音順、敬称略）</div>
事務局	コミュニティ協働推進課 □田中 □高山 ■濱本 ■綱脇 ■日比生

1. 市民サービス協働化提案制度の見直しについて

市民サービス協働化提案制度の刷新及び行政サービスの協働の運用見直しについて事務局から配布資料に基づき説明。その後、審議会委員からの意見収集及び質疑。

《質疑等》

（意見）行政サービスの協働の資料に載っていないが、吉武地区等の学童保育はどのように管理されているのか

（応答）指定管理者制度の枠組みの中で管理をしている。資料には指定管理委託料を除いたものを記載している。指定管理については、指定管理者選定委員会という別の附属機関があり、そこで 4 年に 1 回審査が必ず行われている。

（意見）指定管理者選定委員会にも所属しているが、行政サービスの協働は審査もなく実施されていると聞いて驚いた。

（応答）指定管理のような附属機関で審査をするという仕組みを入れることを検討している。市民サービス協働化提案制度のように公開の場で 4 年に 1 回審査をし、中間報告会も開催する形にしたいと考えている。ただ、全て審査するのではなく、委託業務の内容や金額に応じて行う予定である。

（意見）今年度市民サービス協働化提案制度において「男女共同参画センターゆいネット宗像」の審査をしたなかで、委員の中からは課題についての指摘が多く出たが、それを踏まえて事業が実施されていくのか分からないというところにこの制度の課題を感じる。団体が事業内容をアップデートする機会がないまま、市役所の担当者だけが変わっていき、協働のバランスが崩れているのではないかと。

（応答）それを変えるためにも行政サービスの協働を含めて制度内容を刷新する。

（意見）新しい制度の構想であるむなかたパートナーズテーブル（仮）の流れの中で、市民参画等推進審議会の関わるタイミングが従来の制度より早くなっている点は良いと思う。市の担当課と団体がまとめてきたものに対して審査するのではなく、まずは団体が提案してきたものに対して、審議会の立場から意見が言えるので、改善の提案も早くできる。市の担当課もそれを踏まえて協働事業に臨めるようになるとより良い形で協働事業が行われるようになっていくと感じた。

（応答）行政サービスの協働で継続的に事業を行っている団体については、必ずしもむなかたパートナーズテーブル（仮）を通る必要はないと考えている。ただ、コンサルの要素を入れられるように審

査内容の事前学習会や審査の方式を変えることを検討したい。

(意見) 指定管理委員会でも担当課と団体が作り上げた状態の計画に対して、修正を加えられず、意見を付けることしかできない。また、審議員の意見が反映されているかを確認できる場がない。改善の余地のある段階で審議会が入れる仕組みになることを期待したい。

(意見) 市民サービス協働化提案制度は申請するまでのハードルが非常に高いと感じていたので、制度の見直しでハードルが下がることは市民活動団体にとってとても良いことだと思う。ただ、人づくりでまちづくり事業補助金との違いが分かりにくくなるのではないかな。

(応答) むなかたパートナーズテーブル（仮）の一番の効果は、委託契約を結んで予算をつけることなく、市の担当課と団体との協働の関係性をつくることと考えている。委託契約を前提にすると新しいアイデアが生まれなため、裾野を広げるための制度にしたい。

(意見) 市と協働で何か始めたいと思った時に、団体はまずどこに相談すればいいのかが明確になり、提案しやすくなるのではないかな。コミュニティ協働推進課が間に入ってコーディネートしてもらえると団体としてはありがたいと思う。

(意見) 単に団体がやりたいことを提案するだけでなく、市がやってほしいことに対して団体が提案するような仕組みになるのか。

(応答) 提案の方法はフリー型とテーマ型の 2 つを設ける。テーマ型が担当課が要望する内容に対して提案してもらう仕組みである。テーマ型の内容については、ホームページ等で公開する形にしたいと考えている。

(意見) 仮に協働事業に至らなくても、団体と担当課の関係構築、団体の市政への理解、担当課が市民目線を享受できるという点がとても良いと思う。制度の見直しについては具体例等を示しながら説明するとより分かりやすくなると思う。

(意見) 各施策の課題はどこを見れば良いかな。

(応答) 第 3 次宗像市総合計画の各分野の基本計画のページに課題が記載されている。ここに書かれている課題を見ると団体もできることを考えやすいのではないかな。また、担当課としても課題に対する提案があるとありがたいと思う。

2. 令和 8 年度人づくりでまちづくり事業補助金 要項改正について

令和 7 年度採択団体の報告会と令和 8 年度募集要項の改正について事務局から配布資料に基づき説明。その後審議委員からの意見収集及び質疑。

《質疑等》

なし

3. その他

今後の審議会の開催予定について説明

～閉会～